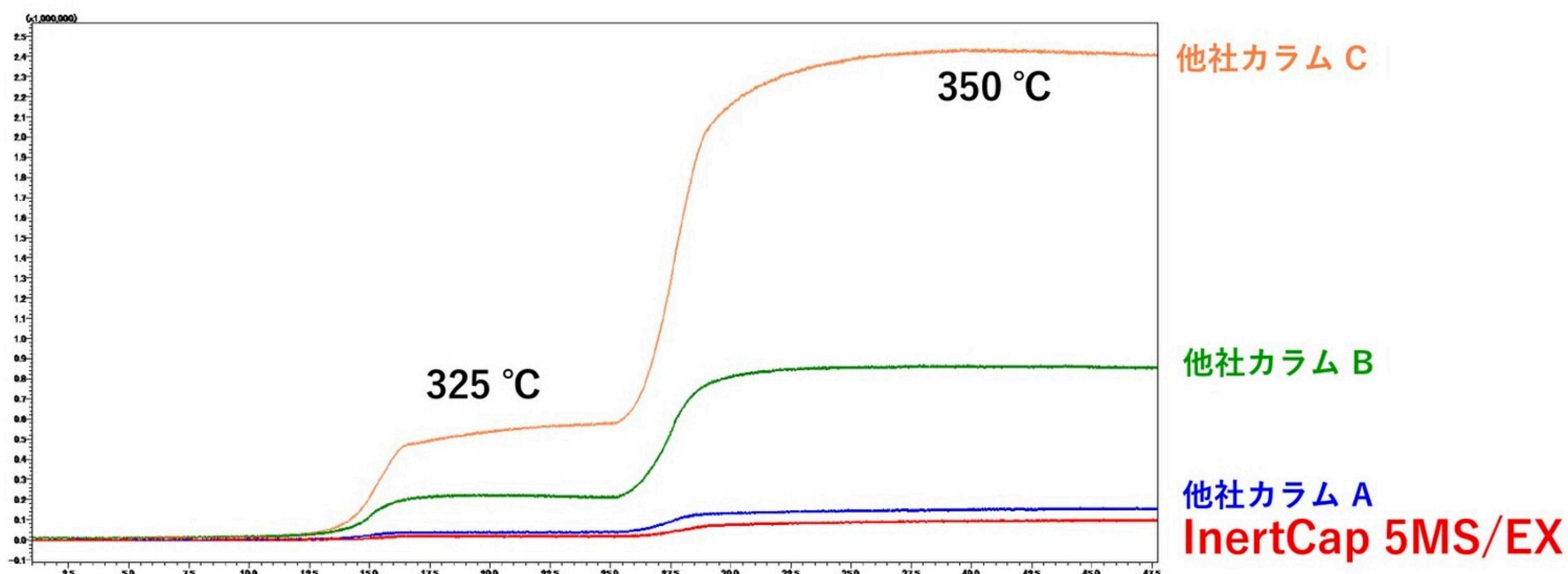


GC/MS分析の限界を変える、超低ブリード設計

卓越した重合技術、内面処理技術で実現した超低ブリード性能は、カラム由来の揮発成分を極限まで抑え、バックグラウンドノイズを低減し、ベースラインを安定させます。これにより微量成分の小さなピークも明確に検出でき、S/N比が向上します。定量精度や再現性が高まり、ライブラリ検索の信頼性も高まります。さらに、MSイオン源や検出器の汚染を抑えることで、メンテナンス頻度の低減にも貢献します。

カラムブリード比較(GC/MS)



System : GC/MS
Column : 0.25 mm I.D. x 30 M, df = 0.25 μ m
Col. Temp. : 40 °C(1 min)-20 °C/min-325 °C(10 min)-10 °C/min -350 °C(20 min)
Carrier Gas : He, 35 cm/sec constant
Inlet Temp. : 250 °C
Inlet mode : Split less
Purge : 5 mL/min
Detection : MS TIC (m/z 46-500)
I.S. temp. : 230 °C

350 °C時の質量スペクトル

ベースライン上昇の原因は、カラム液相のシロキサン結合 (Si-O) が熱により切断され、環状シロキサンとして溶出するためであり、質量スペクトルデータにm/z 207やm/z 281などのピークが現れます。

InertCap 5MS/EXは熱安定性が高いため、低ブリードを誇る他社カラム Aよりもさらにブリードを抑制しています。

